# 総クラウドソーシング ～テレワーク・リモートワーク時代～

## はじめに

- クラウドソーシングとは
  - 企業または個人がオンラインで個人に仕事を発注
  - 受注した個人が作業
  - 依頼主に納品
  - 契約した金額を支払い
- 働き方自体が変革の時
  - 企業改革
    - 残業代の未払い問題
    - ノー残業子一の登場
  - 企業と人びとに成長する時代が訪れた
    - 人口、GDPの低少時代 ※ 仕事が増えない ※ 人を雇えない ※ 仕事が減り続けこなせない ※ 売上を伸ばせない ※ 悪循環
    - 者は自動的に仕事が増える ※ 人を雇う ※ こなせる仕事量が増える ※ 新しい仕事を発注 ※ さらに雇う ※好循環
  - 企業の雇用に対する考え方も変化
    - 終身雇用の崩壊
    - 地方が抱えたサービス残業がなくなりつつある
    - 一人雇用のためのコストが高騰
    - 人を雇いたくい状況
    - 固定給、社会保障費などを払う必要がなくなる
- 企業、個人ともに最適なクラウドソーシングが時代にマッチ
  - 企業
    - 無駄な出費が減る
    - 新規事業への投資が可能になる
    - 既存の従業員へ還元もできる
    - 必要な個所に必要な分だけお金を使えるので、効率的になる
    - 給料以外のお金がもらえる
  - 個人
    - 空いた時間を有効利用できる
    - 自分の好きな仕事、得意な仕事ができる
      - ライティング
        - ブログ記事
        - コラム
        - トピックス
      - デザイン
        - webデザイン
        - イラストデザイン
      - コーディング
        - HP作成
        - LP作成
        - SNSなどの動画の編集
      - 動画編集
        - 企業のPR動画の制作
      - プログラム
        - ツールの開発
        - 既存ツールのバグ修正、管理
- これからはクラウドソーシングで「過程進捗」ではなく「過程進捗」の時代になる
  - 得意な人が得意なことを空いた時間に作業 ※ 副収入の増加で新事収入UP
  - ビンポイントの仕事のために時間、人件費をかける
    - 要がなくなる
    - 依頼作業に対しての要ない分だけの支出で済む

## 第一章 「労働時代」の終焉

- 終身雇用制度の崩壊
  - 就職＝安心、安定は終わった
  - 転職率の増加
  - ～企業に寄生する美学はなくなった
  - 自分の収入（給料）を自分で考える時代へ
- 産業の変化
  - 第二次産業から第三次産業へ
    - 製造業メンボロ=パ（パラ外国語者）
    - サービス業や新形態商品の増加により少人数での経営が可能に
    - 機械化により製造業も必要な人員数が減少
  - 第四次産業（IT）の登場
    - インターネットにより人と人が直接つながれる環境に
    - パソコンの登場で情報はどんどん進み
    - スマートフォンが普及しさらに加速
  - 企業が人を雇ってできる小仕事をこなす時代ではなくなった
- 就職事情の変化
  - 採用にかける費用をカットするために、人材派遣に採用を依頼
  - 採用者は増えたが、終わる一部が派遣会社に取られるため、教育にかければ＆ほど費用対効果が落ちる
  - 労働者は正規雇用ではないため、安心安定がない
  - 業績が悪化すると派遣切り対象に
  - 労働者も楽い採用をなく
  - 企業はイメージ通りを目に
- 社会成熟による浄化力学
  - 戦後復興から高度経済成長期 ※ 熱血サラリーマンがとにかく働く時代 ※ 物欲をはじめとした「欲」の時代
  - バブル崩壊 ※ 終身の施策も為の崩やかに成長 ※ 必要なものだけを得つ消費の時代
  - 現在 ※ ものが溢れ、大半の欲は満たされる
    - 社会が浄化されるあおりが出される
      - 貧困格差の拡大
      - TV中継認の規制
      - 倫理観の強化 ※ SNSが「正義面さん」登場
    - 労働にも同じ現象が起こる
      - サービス残業の減少
      - 定時退社の増加
      - 残業代で稼いでいた会社員の年収減
      - 残業代にれがる収入が必要になった

## 第二章 新時代の働き方

- 労働は「自は時間 ※ はしている
  - まだサービス残業が時間の了解になっている企業も存在
    - 残業データを記録して労基署に行こう
    - それが無理なら労働組合
    - 労働組合がない場合は法テラスなど無料相談ができる窓口が多数
- 余暇時間が増加
  - 睡眠が4時間ちとしても、6時間余る
  - この余暇時間をどう活用するかが大事
  - 副業
    - アルバイト
    - ブログ（アフィリエイト）
    - 投資
    - クラウドソーシングが注目を浴びている
- 平均年収は横ばい（2019年で441万円）
  - 多くの人は収入減、不足
  - 平均年収は1期値が上がっているので横ばい
  - 金持ちはダンダン金持ちに
  - 今まで通りに働いていなら前額するだけ
- テレワーク、リモートワークの増加
  - 新型コロナウイルスの影響もあり、テレワーク、リモートワークが注目を浴びている
    - メリット
      - 上司に会わないので無駄なストレスがない
      - リラックスした環境で仕事ができる
      - 通勤に時間をさく必要がなくなる
      - 人間関係に悩まなくなる
      - グループチャットを活用することで、上司に対して意見が言いやすくなる
    - デメリット
      - 直接の会話がないので、意思疎通がうまくいきにくくなる
      - 自宅時にないので、現実化伝達も時間がかかる場合がある
      - 業務の監視が厳しくなる
      - 会話する機会が減るので寂しい
      - 既婚者の場合、四六時中同じ空間にいなければいけないというストレスが生まれる
  - 飲食店など一部不可能な産業もあるが、ほぼ全ての仕事は遠隔で行うことが可能だと考えている
- 時間ではなく「価値」を売る
  - 会社は時間を売って対価（給料）をもらう仕組み
    - 時間は人間にとって最大のリソース
    - 時間の切り売り（労働）は限界がある
  - 本業で自信につけたスキルを対象に
    - 経理の仕事ならデータ処理
    - デザイナーならデザインスキル
    - 営業マンならトークスキル
    - 変革マンならトークスキル
  - 趣味を対象に
    - 文章を書くのが好き
      - 商品のレビュー記事
      - HP制作
      - LP制作
      - WordPressのコーディングなど
    - 趣味でウェブサイトを作っている
    - プログラミングが多少できる
      - ツールの開発業務
    - コツコツ作業が得意
      - 物販企業の発送代行
      - マーケットリサーチの業務依頼
    - 動画に興味がある
      - Adobe Premiere Proを覚えて動画編集業務
  - これらは全て本業以外のあいた時間でやることができる

## 第三章 クラウドソーシングの活用法

- 業務の細分化
  - 社内で一人が担当している業務をさらに細分化する
  - LP制作会社に見積もり依頼
    - 実際に見積もりをおしたら40万円でった
    - 高いことだと100万円以上の見積もり
    - 20万円ーで広義可能 ※ クラウドソーシング
    - これだけで制作会社に依頼するより安くなる
  - 商品の紹介や販売を行う社のページ ※ LPはランディングページ ※ LP制作の場合
    - 今まで
  - 更に安くする方法
    - LPに必要な作業項目
      - ライティング（記事）
      - ウェブデザイン
      - コーディング（HTML）
    - これを全て別々に依頼する
      - 依頼単価：5万円 ※ ライティング
      - 依頼単価：4万円 ※ デザイン
      - 依頼単価：1万円 ※ コーディング
    - これがクラウドソーシング依頼力 ※ 当初の見積もり80～150万円で制作が完了
      - 第五章で解説します ※ この方法はエコである
      - 工数が増えて金額が高くなる ※ LP制作 といったパッケージで依頼する
  - 工程ごとに分けて依頼する
    - 作業工程自体は不例的に減るので、安価になる
    - さらに、それぞれの分野のスペシャリストが集めやすい
    - そもそもLP制作を受けるとしても
      - 形々で依頼を分ける
      - 記事は書けるけどデザインはできない
      - 逆もしかり
      - これならできる！という人が集まる
    - 単価を下げることが可能 ※ 工数も少ないし、得意分野なので短時間でできる
- レスポンスの大切さ
  - クラウドソーシングはーん日だけで決まる必要がある
  - ワーカー側にては、連絡が遅いと不安になる
  - その分他の仕事を受けれたのではないか？
  - だからこそハイスピードなレスポンスが非常に大事
  - レスポンスが早ければ、当然納期も早くなる
  - ワーカーとのPT間で、クラウドソーシング管理を別に入期
- クラウドディレクター
  - 一人分の人件費で、3人、10人、15人分の仕事が上がってくる ※ 社内に一人いればいい
  - クラウドディレクターの育成が、今後人件費効率No.1になる

## 第四章 クラウドソーシングで世界は変わる

- 究極のWin-Win
  - 依頼人
    - 正社員は雇うのにリスクがある
      - 解雇条件が厳しい
      - 売り手市場 ※ 少子高齢化により人材の確保が困難
      - 生産性が不明な人材に対する人件費が高騰 ※ 給与を上げないと人がこない
      - 長期的コストイマス ※ 派遣に頼る
    - 雇用しない時代
      - 作業単価（当たりの）の種類なので、無駄な支出がなくなる
      - 福利厚生、社保、厚生年金など
      - やめられたら困るから言っていこうも言えない ※なくなる
      - 必要最低限の社員だけで会社が回ける
      - 持っているリソースを最大限活用できる
      - 24時間ヲフル活用できる
        - 夜業は3時間/日しか働けない
        - ワーカー は朝、昼、晩に空いている時間が人によって違う
        - この人はこの時間に作業できる
          - これが分かれば、24時間仕事をしてもらえる
          - 一人当たり4時間働いているわけではない
          - 文句を言われない
          - みんな自分が都合のいい時間に都合のいい仕事をしている訳！
    - 条件付きのワーカーを指定できる
      - 今すぐ作業可能な人
      - OCR検索ができる人
      - 単価が○円以下でできる人
      - 依頼内容による ※ 24時間以内に納品できる人
    - 本業の給料以外の収入ができる
    - 賃貸人（ワーカー）
      - 残業代より高くなる場合もある ※ 残業でなくても、空いた時間に稼げる
      - 得意なこと、好きな仕事で仕受けれたい ※ 嫌な仕事をする必要がなくなる
      - 自分のスキルを最大限活かせる
      - 本業で使えないスキルでもクラウドソーシングで使える
      - 楽しくできる仕事であ数、しかも副収入がもらえる
- 第五章 クラウドソーシングを使って大丈夫なの？
  - 依頼する際に不安になる点
    - ちゃんと仕事してくれる？
      - 納品が完了しない限り支払いは発生しない
      - 納期を守ってくれる？
        - 納期を守らない=当然低評価を付けられる ※ クラウドソーシングには評価制度がある ※ 納期は守られる？
        - 納期を守らなかった案件を思い出すほうが難しいから！
        - 仕事の依頼がまくくなる
        - 納期はずれる人がほとんど
      - 納品物の質を決める要素は？？ ※ 質が低いかしらないう
        - 納品物の質を決める要素は
          - ワーカーのスキル
            - 誰でもできること、できないことがある
            - サンプルを複数提示する
            - 修正依頼を続ける
            - ワーカーは低評価をもらうと仕事が減る ※ 高評価をもらうために頑張る
          - 依頼する際の文言で納品物の質は圧倒的に変わる ※ 依頼方法
            - 特にセンスが問われる依頼
            - デザイン
            - 動画編集
            - クリエイティブな業務
            - センスがない人、合わない人でも思い通りの納品物に仕上げることが可能 ※ これらは仕様書を書くスキルで補える
            - 仕様書の書き方
            - サンプルの提示
            - 動画編集
              - AAの動画に対しはは編集にしてください
              - BGMはBGM動画を参考に
              - SE（効果音）はCOの動画を参考に
              - テロップのフォントはDの動画を参考に
      - どんなものが上がってくるか不安
        - サンプルとして、安価で一部業務を複数人に振る
        - 3人に依頼 ※ OCR検索を書いてください
        - 未来4000文字法しいにこうき、2000文字やSEOをサンプルとして依頼
        - 上がってきたテキストを見て、一番イメージに近い人に本依頼
      - 他の人に比べて費用は無駄になる？
        - 別記事を依頼する際に採用した記事をサンプルとして添付することで、同じイメージの文章を書いてもらえることができる
        - 思い通りのクオリティでライティングができる人を入期し始める
- 第六章 超クラウド活用術
  - クラウドソーシングを最大限活用する方法
  - LP制作
    - 仕様書の頭で単語は半角以下にできる
    - 仕様書をエクセルなどで画像まで入れ込んだ状態にする
    - ワーカーは、ページ内の全体像をイメージして構築する時間が不要になる
    - 1はさで具体的に、「見る仕様書」を作る
  - ワーカーの「思考時間」を減らす
    - デザイン制作
      - この仕様書するクラウドで依頼できるように ※ これが書ける人を社内に一人置く
      - ワーカーの思考時間が増える ※ 「こういイメージ」という抽象的な依頼をする
      - 思考時間を減らせる ※ 参考（モデリング）デザインを可能な限り多く提示する
      - 「あぁ、これに近けたらOKなのね」、そもこの時間を
        - ワーカーの気持ち
        - 案件単価が増えられる
      - 複数人に依頼する
        - 最もイメージに近い記事が書けるワーカーをピックアップ
        - イメージが湧くので思考時間が減る ※ 依頼の際にその記事をサンプルとして提示する
    - ライティング
      - 例文は人気YouTuberの記事ライティングを依頼する場合
      - 記事の構成まで指示する
        - ①取り上げる人物について0経歴、解説
        - ②結論・導入
        - ③結論に対ついて本人の発言、クイートツイートの紹介、キャプチャ引用ツイートでください）
        - ④取り上げる人物のエピソードにて自慢してもらければ幾幅写！
        - ⑤ネガティブ情報（なければ省略可）
        - ⑥ネガティブ情報を記載した上のポジティブ情報（CCOなら別をしたりで、やはムムで強流しているなど）
        - ⑦再び結論・提え
        - ⑧まとめ
        - 具体例
  - 人月計算で考えても、単価は抑えられる ※ 思考時間を減らすことにより、工数が激減する
  - このワーカーの思考時間をへらすことがクラウドソーシングを活用するとこの究極の高義とも言える

*リアルな仕様書や単語をPDFなど絵文文言でなくはエクセルで出 ※ 思います*

*難易度がアップ＆クラウドワーカーが低下する ～ 人分の人件費でも人分の仕事量を「すべ方法はエクセルで！」*

*リアル書類やクラウドソーシングを使ってみたで、実績などはエクセルで出 ※ 思ます！*